

請願第3号

福井県で教職員になった方への支援とともに教育現場への 人材確保に関する請願

1 趣 旨

ここ数年、学校では定年退職者が増加し、若年層が大量採用されている。そのため、育休を取る教員の数が増えている。しかし、若年層の大量採用や教職希望者の減少により講師の成り手不足が深刻化している。そのため年度途中で担任さえ足りずに子どもたちが困る事態が起きている。

2024年度の福井県の公立学校教員採用試験では、受験者648人に対し倍率は2.56倍と受験者数、倍率ともに昨年を下回る状況となった。そのため、学校の手不足は深刻であり、教職員を確保するための対策が必要である。福井県では、医師を確保するために貸与型の奨学金の返還を免除する制度がある。

教職希望者の中にも、福井県の学校で働くことを希望しながらも、経済的な理由でその思いが閉ざされかねない学生がいる。そういった学生の思いをかなえとともに、福井県内において教職員となる人材を確保するために、奨学金の返還免除制度の創設が求められる。

そこで、下記のとおりに請願する。

記

経済的に困難な学生への支援とともに教育現場への優秀な人員確保のために、福井県で教職員になった方への奨学金返還特別免除制度の創設をすること。

2 提 出 者

福井の教育をよくするための県民協議会 会長 矢田弘

3 紹 介 議 員

北川博規、斉木武志、山岸みつる

4 受 理 年 月 日

令和5年11月21日